

「新・せとうち田園都市創造計画」の変更について（概要）

1 経緯

「新・せとうち田園都市創造計画」（平成 28 年度～平成 32 年度）は、県政運営の基本指針として、平成 27 年 11 月定例県議会で議決をいただき策定した。

本計画に掲げる指標について、状況の変化を踏まえた点検を行った結果、次の指標を見直すこととし、計画を変更しようとするものである。

2 変更内容

指標 42 移住に関する相談件数〔累計〕

〔施策体系〕

分野 7 移住・定住の促進

施策 21 移住の促進

〔見直し案〕

	策定時 (H26 年度)	目標値 (H32 年度)	目標値の設定根拠
変更前	—	5,000 件	平成 26 年度実績を勘案し、年間平均相談件数が 1,000 件程度となることをめざす。 (H26 年度 833 件)

H29 年度実績値：5,427 件（H28～29 年度の累計）

年間平均相談件数が 1,000 件程度で推移することをめざし、平成 32 年度までの 5 年間で 5,000 件の目標を設定していたが、相談窓口の増設をはじめ、様々な移住施策を積極的に行ってきた結果、相談件数実績が目標値を上回ったため、目標値を上方修正する。

	策定時 (H26 年度)	目標値 (H32 年度)	目標値の設定根拠
変更後	—	18,900 件	過去 5 年間（平成 25 年度から平成 29 年度まで）の相談件数実績を勘案し、平成 29 年度実績から毎年度 600 件程度の増加をめざす。 (H29 年度 3,282 件)

指標 72 犬、猫の譲渡率

〔施策体系〕

分野 14 安全・安心な暮らしの形成

施策 45 人と動物との調和のとれた共生社会の実現

〔見直し案〕

	策定時 (H26 年度)	目標値 (H32 年度)	目標値の設定根拠
変更前	10.6%	24.4%	平成 26 年度の譲渡率をもとに、毎年 2.3% (全国の過去 3 年間の平均増加率) 増加させることをめざす。

H29 年度実績値 : 28.7%

保健所に収容した犬、猫の譲渡に積極的に取り組んだことにより譲渡数が増加した一方で、収容数が大幅に減少したため、譲渡率は目標値を上回っている。また、狂犬病予防などの観点から野良犬の捕獲収容にも取り組む必要がある、今後の譲渡率の向上は不透明であるが、「さぬき動物愛護センター」を開所し、将来的な犬猫の殺処分数減少に向け、積極的に譲渡を図ることから、目標値を上方修正する。

	策定時 (H26 年度)	目標値 (H32 年度)	目標値の設定根拠
変更後	10.6%	35.6%	平成 29 年度の譲渡率をもとに、毎年 2.3% (全国の過去 3 年間の平均増加率) 増加させることをめざす。

「新・せとうち田園都市創造計画」の変更について

香 川 県

1 現計画策定年月
平成 27 年 12 月（計画期間：5 年）

2 変更年月
平成 31 年 3 月

3 変更の理由

新・せとうち田園都市創造計画は、平成 27 年度に策定され、平成 28 年度から平成 32 年度までの 5 年間を計画期間としているが、本計画に掲げる指標について、状況の変化を踏まえた点検を行った結果、見直しを行うこととし、計画を変更するものである。

4 変更内容

指標番号 42「移住に関する相談件数〔累計〕」及び 72「犬、猫の譲渡率」について、目標値の変更を行う。

変更前

プラン編

第6章 施策体系(施策の総合的展開)

分野7 移住・定住の促進

指標

指標番号	指標	現状 (H26年度)	目標値 (H32年度)	指標の概要	目標値の設定根拠
42	移住に関する相談件数〔累計〕	—	5,000件	移住・定住の促進を図るために、実際の移住者数の潜在部分である相談件数を把握	平成26年度実績を勘案し、年間平均相談件数が1,000件程度となることをめざす。(H26年度833件)

分野14 安全・安心な暮らしの形成

指標

指標番号	指標	現状 (H26年度)	目標値 (H32年度)	指標の概要	目標値の設定根拠
72	犬、猫の譲渡率	10.6%	24.4%	犬や猫の譲渡推進の拠点施設となる動物愛護センターの整備など、保健所等に収容した犬、猫の譲渡の推進に向けた取組みの成果を示す指標	平成26年度の譲渡率をもとに、毎年2.3%(全国の過去3年間の平均増加率)増加させることをめざす。

変更後

プラン編

第6章 施策体系(施策の総合的展開)

分野7 移住・定住の促進

指標

指標番号	指標	現状 (H26年度)	目標値 (H32年度)	指標の概要	目標値の設定根拠
42	移住に関する相談件数〔累計〕	—	18,900件	移住・定住の促進を図るために、実際の移住者数の潜在部分である相談件数を把握	過去5年間(平成25年度から平成29年度まで)の相談件数実績を勘案し、平成29年度実績から毎年度600件程度の増加をめざす。 (H29年度3,282件)

分野14 安全・安心な暮らしの形成

指標

指標番号	指標	現状 (H26年度)	目標値 (H32年度)	指標の概要	目標値の設定根拠
72	犬、猫の譲渡率	10.6%	35.6%	犬や猫の譲渡推進の拠点施設となる動物愛護センターの整備など、保健所等に収容した犬、猫の譲渡の推進に向けた取組みの成果を示す指標	平成29年度の譲渡率をもとに、毎年2.3%(全国の過去3年間の平均増加率)増加させることをめざす。